



寒くてもお外大好き！！



ピオトーフに向かって・ゴー！



雪合戦しようよ！！



大きな氷がはっていたよ！

今年も子どもたちのやってみたいことを
どんどん実現させていきます！



黒豆について

黒豆は、おせち料理に代表的な料理の材料の一つで、祝い肴三種のひとつです。(祝い肴三種：関東では、黒豆、数の子、田作り)

黒豆の意味は



- 「よく働く」
- 「太陽を意味する」
- 「精を出してよく働き、体が丈夫なこと」
- 「一年間の厄払いをして、今年一年元気で働けるように」
- お正月に黒豆を食べて、健康で1年を元気で過ごす。
- 年のはじめに本当に縁起がよくなる食べ物です。熊野町の特産でもあります。しっかり豆を食べて1年間元気に過ごしましょう。

ら声だけで「いってらっしゃい」を言っていませんか？子どもはお母さんの姿を見ています。お父さんを大事にする、玄関まで、車まで送っていく姿を見せてあげてください。2歳頃から見て意識するので、お父さんを大切に育てあげること、なんでもお父さんに相談してみようねということは大切です。

・お菓子は袋のまま渡していませんか、皿に取り分けることは意味があるのです。同じように入れることで数を数えたり、妹には少し多くあげようかななど、優しさが育ちます。

・箸置きはありますか？家族全員違う絵柄のものがよいですよ。お父さんはこれ、お母さんはこれと家族の一人ひとりを意識します。家族の人間関係を作ることは保育園、小学校、高校、大学、社会に出る時の人間関係の基盤になります。お父さんやお母さんの関わり方ひとつで子どものいろんな力が伸びていくのです。

・お手伝いをしてくれたら、「たすかったわ〜」としっかりほめてあげてください。役になったという思いは子どもの自信に繋がります。

井原先生はたくさんのお話を挙げながら、わかりやすくお話しして下さいました。子育ては無理をしないで、できる時に、できることからやっていきましょう。何気ない日ごろの家族間での関わり、お父さんを大切にすることは昔から大切にされてきたことですが、今も変わらず大切であることを改めて感じました。

いよいよ新しい年が始まりました。子どもたちは毎日自分でやりたいことを見つけて、主体的に遊んでいます。幼児クラスでは発表会に向けての取り組みが始まり、子どもたちは自分の役になりきったり、あそびの延長線上で楽しみながら頑張っている姿が見られます。先日、お部屋で劇の小道具の草を職員が作っていると、「私たちが頑張っているから先生かわいいの作ってくれているの？」と嬉しそうに言ってくれたそうです。また、クリスマスの日パーティーをしたクラスの子から、給食先生にもとても嬉しい気持ちになったという話を聞きました。感謝の気持ちを伝えることは、子どもの心を育てたり、頑張ってくれている大人への励みにもなりますね。その気持ちも今の時期から育てておきたいですね。

「乳幼児期に育てておきたい力」

井原先生の講演会より

新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎えましたが、コロナウィルス感染は形を変え、まだまだ油断ができません、第6波が迫ってきています。しばらくは幼児クラスの子もたちも室内でのマスクの着用は欠かせませんね。保護者の皆様もマスクの着用、手指消毒、県外などの移動、密になる場所へ行くことは控え、慎重に気を付けて行動していきましょう。家族内で熱が出た場合は熱の原因がわかるまでお子さんが元気で登園を控えていただきますよう、よろしくお願いいたします。

さて、12月17日にせいあい幼児教育研究所の所長をされ、元聖愛幼稚園園長の井原忠郷先生に講演をしていただきました。演題は「乳幼児期に育てておきたい力」という、とても興味深いテーマでした。井原先生は西日本で男性保育士第1号になられた方です。幼稚園時代のお子さんとの関わりや、わが子の事例なども取り入れながら、涙あり笑いあり、たくさんのお話をしてく下さいました。保護者の皆様もお仕事の忙しさや毎日の疲れから、日頃忘れていた大切なことを振り返ることのできる内容でした。当日お見えにならなかった方もおられるので、いくつかお話を紹介します。

・お子さんとうたを歌っていますか？…夕焼け小焼けのうた、昨日歌いましたか？小さい時からうたや音楽を聞くこと、一緒に歌うことはとても大切です。聞くことで、耳がよくなり英語の発音もよくなり、英会話が早く上達します。

・今の世の中、乳幼児の教育や子育ての情報が氾濫しています。ネットでもたくさんの情報が流れ、どれが本当かわからなくなります。でもその情報の中から、うちの子にどれが合うかを選んで育児に生かしてください。

・困った行動をするお子さんや支援の必要なお子さんに悩んでおられる保護者の方もおられると思います。そのお子さんは神様からあなたには力があると託され子、あなたを選んでプレゼントして下さった子です。子育てのために応援を用意してくれる協力者もたくさんいます。一人ではない、協力してくれる方と一緒に子育てしていきましょう。

・子どもにしっかり触れてあげていますか？撫で続けることで子どもは安心するのです。日ごろからしっかり触れてあげてください。

・ご家庭で朝、お母さんは仕事に出かけるお父さんを見送ってあげていますか？まさか、用事をしながら



今年の干支

寅（とら）年



2022年は寅年の中でも特別な年。60年周期で訪れる「壬寅（みずのえとら）」に当たる年とされています。「壬（みずのえ）」とは、ゆったりカーブを描きながら流れる大河を表しています。加えて決断の力を持つ「寅」が合わさった2022年は、安定性や落ち着きを持ちながらも、はっきりと決断できる年。

七草かゆ



お正月過ぎて、7日の朝食に七種類の野菜を入れた粥を食べます。早春野山に咲く若草を食べる事によって、自然界から新たな生命力を得ることができ、無病息災で長生きできると言われています。また、七草には、消化を良くする成分やビタミンCがふくまれているので、お正月のご馳走で弱り気味の胃を少し休めようと言う知恵から始まったとも言われています。



鏡開き

1月11日は鏡開きです。

お正月にお供えしたお餅を割り、お汁粉などにして頂きます。お餅を割る時に、1年の健康をお祈りすると元気に過ごせると言われています。園児の健やかな成長を願って、園でも11日におやつにおしるこをいただきます。